

【ビジョン】

一生涯八千代

【30年後の理想像】

- 水を使って八千代を活性化
- 交通の便を良くする
- ごみの分別の解決
- 子供たちの外で遊ぶ機会を増やす
- 待機児童の削減
- 要介護者の増加防止

重点政策①概要

Energy Water System

【政策の目的】

- 水をきれいにする
- ゴミー環境を良くする
- 水を売るー良さを広める
- ーお金を得る

【事業内容】

- 機械を作るーごみを水中分解
- ー水がきれいに
- 水を売るー八千代全体
- エネルギーの活用

【費用】

5億円

重点政策②概要

Comfy Transportation

【政策の目的】

- 交通の便を良くする(アクセス○)
- 生活しやすく
- 観光客も

【事業内容】

- エネルギーでバスを走らせる
- 運賃を得る
- 案内図を作る

【費用】

1億円

重点政策③概要

Favorite Center

【政策の目的】

- 子供が遊べる施設
- コミュニケーション
- 子供と高齢者の交流
- 要介護者の増加防止
- 避難場所
- 待機児童の削減

【事業内容】

- 三つを隣接(高齢者住宅／公園／保育園)
- 高齢者と子供と一緒にできるイベント
- エネルギーの活用

【費用】

6億円

チーム名
八千代お助け隊

ビジョン

- 水をきれいにする
- アクセスを良くする
- 生活が豊かになるためのエネルギーを生む
- 高齢者も元気で暮らしやすい街
- ゴミの分別を無くす
- 子供たちが遊べるところを作る
- 待機児童をなくす

メンバー 秋元 夏海
平野 綾葉
森 啓伍

30年後の理想のまち

【ビジョンが示す理想の状態】

- 水源がきれいな状態を保つ
- 市民が外出する機会が増え、生活しやすい状態
- 子供たちが元気に遊んでいる
- ゴミの関する問題がない状態
- エネルギーの有効活用
- 要介護者が少ない
- 待機児童がない

【なぜ上の理想を実現したいのか？】

- 子供の割合が高いので子供たちが元気に遊べるように
- ゴミの分別という概念を無くすため
- 交通の便／アクセスを良くし、市民が住みやすいように
- 水源があるのだからきれいにして飲み水にしたいため

現実のまち

【ビジョンと現状のギャップ】

- 水をきれいにする方法がない
- 八千代市で生活しているのではなく寝るために帰ってきている。
- 子供たちが遊ぶための施設の環境が整っていない

【現状が維持された場合の社会の姿】

- 水源がなくなる
- 外に出る機会がなくなる
- 子供たちが外で遊ばなくなってしまう
- ゴミによる環境悪化
- 八千代市に住む人がいなくなってしまう
- 要介護者が増え続け、介護士の不足
- 待機児童が増え続け、生む人、育てる人が減る

重点政策①詳細

政策名 Energy Water System

政策の概要

【政策の目的】

水をきれいにする
ゴミ－環境を良くする
水を売る－良さを広める
－お金を得る

【誰のための政策か】

市民

【政策を実施する主体】

市

【政策を実施する期間】

五年で開発
二、三年で建設、完成
八年後 start
九年後エネルギーの供給
十年後 水の販売

政策の詳細

【事業内容】 *政策を実行するための具体的方法

ゴミを水中分解できる機械の開発
新川の水を引き市で出たゴミと合わせて
分解
分解したエネルギーの利用
蒸気→高齢者住宅、保育園の暖房
電気→バス、緊急時の電力
ゴミは分解され水はきれいになる
水は新川へ戻す
→一部は飲み水とし販売
(スーパーや八千代市内の企業)→拡大
↓この水を利用して様々なことに

【政策にかかる費用】

機械 4億円
工場 1億円
水 470万円

【政策による影響への対策】

資金が必要
→国から借金→返済
水が売れるか？
→特産品である梨を使用
→営業、販売
→バス、チケット付き

重点政策②詳細

政策名 Comfy Transportation

政策の概要

【政策の目的】

交通の便を良くする(アクセス○)
生活しやすくする
観光客へのアピール(桜、よさこい)

【誰のための政策か】

市民
観光客

【政策を実施する主体】

市民
自治体

【政策を実施する期間】

Energy Water System 開発開始から
五年後 →計画開始
Energy Water System 実施開始から
九年後 →利用開始

政策の詳細

【事業内容】 *政策を実行するための具体的方法

Energy Water System によって作られたエネルギーを利用し、バスの燃料にする

バスの運賃は一定額にする
どんなに乗っても

現金 大人200円(片道)
子供100円(片道)

IC 大人265円
子供165円

ペットボトルのラベル 50円引き
↓ここで得たお金は路線拡大
+

政策にかかった費用の返金に繋げる
案内図の作成

【政策にかかる費用】

バス一台 2000万円(設備込み)
案内板 20万円
バス停 2万5000円(20基)

【政策による影響への対策】

交通渋滞→計画時にルートを試行錯誤
路線がわからない
→案内図
バス走行開始前に資料作成
エネルギー不足
→最悪ガソリン使用可能

重点政策③詳細

政策名 Favorite Center

政策の概要

【政策の目的】

子供、高齢者の交流
要介護者の増加防止
待機児童の削減
子供たちの遊べる施設
災害時の避難場所

【誰のための政策か】

子供
高齢者
親
市民(災害時)

【政策を実施する主体】

市
自治体

【政策を実施する期間】

Energy Water System 開発開始から
4年後 →計画開始
Energy Water System 開発開始から
7年後→建設開始

政策の詳細

【事業内容】 *政策を実行するための具体的方法

高齢者住宅
公園
保育園
隣接させる
高齢者住宅の1階を多目的ルームにする
↓子供と高齢者が触れ合える
イベントを開催
→高齢者、子供、双方に利点
Energy Water Systemで作られたエネルギーの有効活用
蒸気→暖房
電気→緊急時の電気供給
水→災害時の飲料水、生活用水
公園は誰でも利用可能
↓子供たちの遊べる施設に
Comfy Transportationのバスを保育園の送迎バスに

【政策にかかる費用】

高齢者住宅 3億円(国からの補助金あり)
公園 砂場64万円
滑り台40万円
ブランコ23万~28万円
動物15万円×2
建設1億5000万円
保育園1億5000万円
【政策による影響への対策】
保育士の不足→千葉県で取り組む
キャリアアップ研修で
保育士の確保

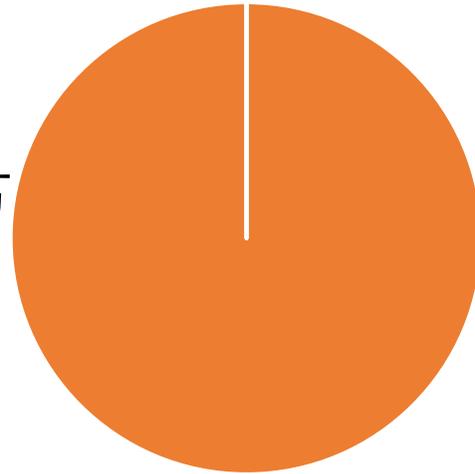
2029年の自治体予算

予算の算出の対策

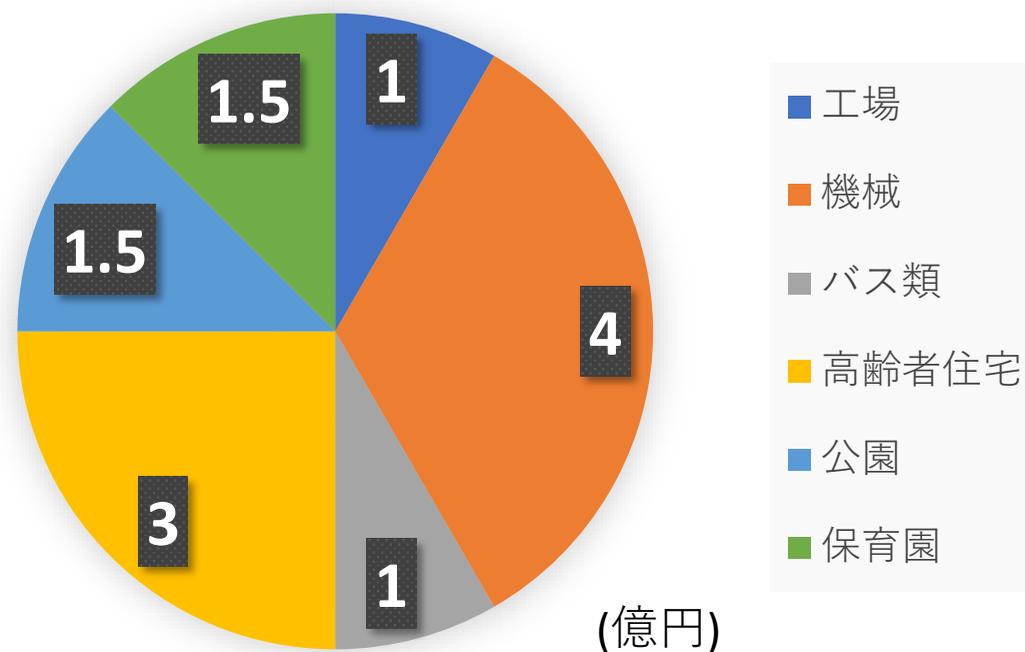
歳入の部

年間

水 1000万
バス 27.4億
保育園 1920万



歳出の部



【重点政策予算の捻出方法】
地方債12億円

【現在の自治体予算からの変更点とその理由】
4、衛生費 (2)清掃費 2.730.848円を変更
→ゴミの分別を無くしたためゴミ捨て場の清掃費減
3、民生費 (1)社会福祉費 8.707.649円を変更
→高齢者住宅建設により、1人あたりに必要な額減

【予算面の変革に伴う対策】
①Energy Water System
分別しなくていい→ゴミの処理費減
エネルギー活用
②Comfy Transportation
外出頻度増→消費増→税収入増
③Favorite Center
要介護者の増加防止→介護費減

衛生費、民生費の
変更をカバーする